

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

21世紀をめざす 川崎市立図書館



「運営検討委員会最終報告（平成16年度）」がまとまりました！

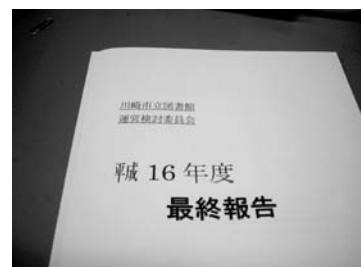
川崎市立図書館では、よりよい図書館サービスを提供するため、「川崎市立図書館運営検討委員会」を設置し、図書館の実情の分析と今後の運営を検討してきました。このたび『川崎市立図書館運営検討委員会平成16年度最終報告』として新しい報告書を発行いたしました。

《平成15年度の委員会でまとめた21世紀の川崎市立図書館の5つの重点課題》

- ① 市民の幅広い学習・読書に応えられる資料の選択
- ② 市民の学習・調査活動を支えるレファレンス機能と情報作成・提供機能の強化
- ③ 学校図書館への支援など、地域の学習活動への支援の強化
- ④ 図書館へのアクセスが困難な市民への、読書支援活動の展開
- ⑤ 図書館の社会基盤を支え発展させるための、市民の参加協力の実現

平成16年度では、この5つの重点課題に対して具体的取組みを検証しています。くわしい内容について、ぜひ『川崎市立図書館運営検討委員会平成16年度最終報告』をご一読ください。各川崎市立図書館・分館にてご覧いただけます。

※ホームページからも報告書の内容がご覧いただけます。



各川崎市立図書館・分館にて
ご覧いただけます。

浮世絵コレクションをご覧いただけます



川崎を題材にした浮世絵について、中原図書館で特別資料として所蔵しておりますが、今まで貴重資料ということもあり、あまり多くの方々にご覧いただく機会がありませんでした。今回コレクション画像60点をCD-ROM化いたしました。各図書館・分館のCD-ROM閲覧用パソコンでご覧いただけます。ぜひご利用ください。

読書の秋

読書のまち・かわさき

11月6日(日)は、かわさき読書の日

10月31日(月)～11月13日(日) かわさき読書週間

今年も11月6日(日)「かわさき読書の日」を中心に、期間中読書に関するさまざまなイベント・展示会などが行なわれます。ぜひご参加ください！

かわさき読書の日のつどい

おはなしの世界を楽しもう！

中原市民館3階フロアーにて

平成17年11月6日(日)

午前11時～午後4時

中原市民館3階の各会場にて、**展示・おはなし会・工作・朗読**など、お子さんたちと楽しめる催しを開催いたします。入場は自由です。※幼児の方は保護者同伴でご参加ください。

松岡享子さんと語る「かわさき読書の日」のつどい

今年の読書の日のつどいには、子どもの本の創作・翻訳で有名な松岡享子さんをお招きして、読書というかけがえのない体験について、お話をうかがい、語り合います。

■日 時 平成17年11月6日(日)

午後2時～3時30分

■会 場 中原市民館 3階 視聴覚室

■定 員 70人

《申込み》 往復はがきに氏名・住所・電話番号を

ご記入の上(1枚につき1名様)、

〒210-0004 川崎区宮本町6

教育委員会生涯学習推進課

読書の日のつどい係 まで

10月26日(水) 消印有効

《問合せ》 川崎市教育委員会 生涯学習推進課

Tel (044) 200-3303

松岡 享子さん

『とこちゃんはどこ』『おふろだいすき』など長年愛されている絵本の著作や、「パディントン」シリーズ、ブルーナの絵本などの翻訳を手がけています。また東京子ども図書館の理事長をつとめられ、多方面から児童文学と読書活動をサポートされています。

読書週間には、上記のイベントのほかにも各区の図書館・分館で展示・おはなし会などのイベントを開催いたします！

くわしくは図書館ホームページ、館内のチラシ・ポスター等をご覧ください。



子どもたちを見守る素敵な文庫

さん が つ ぶ ん こ

三月文庫をクローズアップ

8月最後の水曜日、「三月文庫」には、本を抱えた子どもたちが元気いっぱいに入ってきました。「三月文庫」は宮前区の伊藤さんが、毎週水曜日の午後にご自宅の一室で開かれている子どものための文庫です。文庫のお部屋には小さな子ども向けの絵本から読み応えのある児童文学まで、伊藤さんがセレクトした本が並べられています。

伊藤さんが文庫の活動をはじめられたのは25年ほど前、学生の頃に子どもの本に魅了されてから少しずつ買いためていたものを、子育て中に近所の子どもたちとお母さんに貸していたのが始まりとのこと。次第に伊藤さんのところに本を借りに来る子どもたちが増えて、お互いにわかりやすいように、貸出のカードをつくり、オープンの日にちを決めて、「三月文庫」が誕生したそうです。



文庫には伊藤さんのセレクトした絵本・お話の本、約1700冊がならんでいます

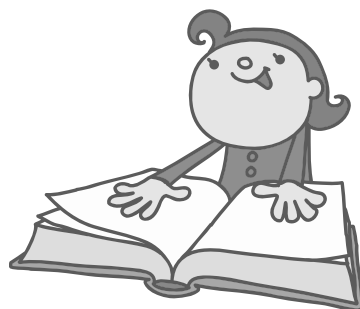
特別に文庫の宣伝をしていないのに、入会する子どもは増えて、現在は83人。宮前区の子どもたちだけでなく、区外や市外の子ども達も。遠くからでも通ってくる子が多い理由は、しばらく文庫の様子をみているとわかります。文庫に楽しい本が揃えられているのはもちろんのこと、読む本に迷ったときには伊藤さんから「今度はこの本どうかな?」「この本好きそうだと思うけれど」と一人一人に声がかけられます。



「83人いれば83人の読書がある」と伊藤さん
「三月文庫のちいさな本や」として、月に一度、文庫で子ども達に愛されている絵本の販売も手がけています。

伊藤さんは今までに読んだ本と読書力を考えながら、今のその子にピッタリくる本を紹介していきます。こうして本当に楽しめる本と出会えた子どもたちが、次回を楽しみに通ってくるのが目に浮かぶようです。

長年子どもと本の出会いを助けてきた伊藤さんに、以前と今とで、子どもたちに時代の変化のようなものを感じますか?とお訊ねしたところ「子どもたちは基本的に昔も今も変わっていません。ただ最近は習い事などで忙しい子も多いみたい。だから今はもっと的確に、本当に楽しめる本を案内してあげたい。」とのお答えでした。また、「好きな本の話をする時は大人も子どもも同じ、対等。」とも。親でも先生でもないけれど、対等に接してくれる、自分を認めてくれる、そんな大人の存在が楽しい本との出会いと同じくらいに素敵な事、そう感じさせる文庫でした。



かわさき歴史めぐり (7)

徳川氏の関東入国と川崎市域－7－

法政大学名誉教授
村上 直

ここで、代官頭の一人である長谷川長綱とはどのような人物であるかを記してみることにしましょう。長綱は、通称を七左衛門と称し、天文12年(1543)、駿河国(静岡県)の今川氏の家臣長谷川長久の三男として生まれました。兄の長盛は駿河国島田代官(東海道の島田宿周辺)、弟長次も代官を務めています。長綱は天正17年(1589)ごろ、すでに徳川氏の五力国領有時代に三河・遠江・駿河の代官として活躍しています。翌18年8月に徳川氏の関東入国後には知行地4000石を与えられ、相模国三浦郡西浦賀(横須賀市)の陣屋山(愛宕山)に陣屋を設け、三浦郡一円の支配に当たりました。長綱によって開基や再建された寺院は海宝院(逗子市沼間2丁目)・法昌寺(三浦市)・曹源寺(横須賀市)などがありました。そして、代官頭として関東の知行割や交通制度の確立のため尽力しました。その支配領域は相模や武蔵以外に常陸や下野を含む関東の諸地域に及んでいます。また他の代官頭や関東総奉行らとの連署によると知行・寺社領宛行状や伝馬定書・地子免許状などが発給されています。慶長8年(1603)には駿河国富士郡万野原(静岡県富士宮市)の開発を行っています。長綱は三浦郡を直接支配するとともに三浦に本拠をおく幕府船奉行である向井正綱と共に重要な江戸湾防衛の役割を果たしていた

とみることができます。しかし長綱が署名している古文書類を調べてみますと次第に代官頭の中核からはずされていったとみることができます。

かくして慶長9年(1604)4月12日に江戸において没していますが、年は62歳でした。墓は現在海宝院にあります。この長綱の家系は子の久五郎のときに断絶しますが、長綱の死によって、代官頭グループが消滅していく契機になったことは確かです。

さて、この長谷川長綱によって川崎宿の基礎が作り上げられていったことに大いに注目したいと思います。長綱の支配は多摩川を挟んで荏原郡の一部(東京都大田区)にも及んでいたとみられますので、三浦半島から江戸湾(東京湾)西岸地域の一部に及んでいたという見方もあります。こうしたなかで、長綱によって、新宿・砂子の二村を中心に基礎ができ、のちに多摩川に沿って久根崎村と砂子村の西に位置する小土呂村を加えた四村を伝馬を賦課する地域として、やがて町立が行われたのです。しかし、これが川崎宿となって宿駅が成立するのは、元和9年(1623)のことです。なお、長綱によって、はじめ砂子と久根崎の二村の地割り(土地を割り当てる)が行われたともいわれています。

蔵書点検のための休館

下記の日程で蔵書の点検を行います。期間中は休館となり、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

幸図書館	9月27日(火) ～ 10月3日(月)	宮前図書館	10月11日(火) ～ 10月17日(月)
日吉分館	10月5日(水) ～ 10月7日(金)	麻生図書館	10月17日(月) ～ 10月23日(日)

なお、下記の図書館の今年度の蔵書点検は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

川崎図書館 中原図書館 高津図書館 多摩図書館
大師分館 田島分館 橘分館 柿生分館 菅覧所

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-417 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅覧所(946-3271)